

# 平成 30 年度 第 10 回とやま建設フォトコンテスト

## 総 評

県民の生活にとって密接な関わりを持つ、建設業の重要性・地域の人々の安心安全を守るために日夜努力している建設現場で働く人々の姿と、建設業の魅力を伝えるコンテストは、今回で 10 回目を迎えました。応募者は 16 歳から 84 歳までの幅広い年代の 57 名から 113 点の応募をいただきました。

入賞作品は、本コンテストの趣旨を深く理解し、建設業の明日へ向けた熱い想いを感じさせる作品が選ばれました。たくさんの素晴らしい作品を寄せて下さった方々に感謝いたします。

審査委員長 堀田信一（富山県写真連盟委員長）

## 特 選



## 【良きライバル】

### 砂山 恵利子

（撮影場所：富山市）

働く女性の重要性がますます高まる中、作業する二人の女性に、現場の近くまで迫ったとてもインパクトのある作品になりました。女性の真剣な表情、力強い目が印象的です。

同時にこの作品に対する作者の強い思い入れが伝わってきます。迷うことなく特選に選びました。

## 働く人部門賞

【心をつなぐ】東 句美子

(撮影場所:高岡市)

送電工事の技術者、爽やかな表情、優しい眼差しの中に、働く喜び、仕事に対する情熱と誇りが感じられます。

作者は電線を繋ぐだけでなく心までも繋いでくれる温かさを感じたのでしよう。



## 物づくり部門賞

【世界遺産を守る】藤牧 隆夫

(撮影場所:南砺市)

急勾配の茅葺き屋根の葺き替え作業、世界遺産を守る大変な作業です。

穏やかな春日和、低い位置からカメラを上に向けて撮ったことで、人物が小さく見え建物が大きくなり対比が際立ち凄さを感じさせる作品になりました。

右下の桜が画面を引き締めています。

## 絆部門賞

【雪化粧の並木道を前進】

沙魚川 秀一

(撮影場所:富山市)

見事な白銀の並木道。今冬当地方は降雪量が少なかったとは言えライフラインを守る道路の除雪は大変重要です。通行する車がまだ無い中、朝早くからの作業に頭が下がります。

実際、降るか降らないか分からない時も待機しなければならなかったりして身体だけでなく心の負担も多かったことだろうと思います。



## 佳作

【働くお父さん】長田 彩花

(撮影場所:南砺市)

これも合掌家屋の葺き替え作業です。

若い感性のなんとも大胆な構図に驚きと感動を覚えます。作業員の真剣な表情と一生懸命な姿に、作者のお父さんのイメージを重ね合わせた優しさがにじみ出ているように思いました。

一番若い入賞者です。



## 佳作

【今日も活躍】竹本 正

(撮影場所:富山市)

元西武デパート跡の再開発ビル、茜色した空の美しさと逆光を受けた建築中のビルの上部とその上のパワークレーンの佇まいに心引かれました。クレーンが空高く伸びる姿に夢を感じさせます。他にも同現場の作品がいくつもありません。



## 佳作

【クレーン集合】松為 幸夫

(撮影場所:砺波市)

国道359号線高架橋の工事、空に届けというばかりに伸びるクレーン車。正にスケールの大きさと道路の重要性を捉えた作品です。



### 第10回とやま建設フォトコンテスト概要

募集時期 平成30年9月～平成31年1月

主催 (一社)富山県建設業協会

後援 富山県、富山県建設産業団体連合会、東日本建設業保証(株)富山支店

応募点数 113点

入賞作品 7作品

### 募集部門

- 働く人部門……建設業で働く人々が、いきいきと誇りを持って物づくりに携わる姿等をとらえた作品
- 物づくり部門…建造物や建設機械などを対象に、建設産業のスケールの大きさや重要性等をとらえた作品。
- 絆部門……除雪活動や防災対策など、建設業と地域のつながり、人々の安心安全を守るために担っている役割・活動をとらえた作品